

ご案内

インターオプト開催案内

光産業技術振興協会では、最先端光技術の国際展示会である、インターオプト（International Optoelectronics Exhibition）「光&次世代アプリケーション・ネットワークシステム展示会」を 2023年5月31日（水）～ 6月2日（金）の3日間、東京ビッグサイトにて開催いたします。

<http://www.optojapan.jp/interopto/>

会 期： 2023年5月31日（水）～ 6月2日（金） 10:00～17:00

会 場： 東京ビッグサイト 東展示ホール

入 場 料： 無料 ※完全WEB事前登録制 (<https://jpca2023.jcdbizmatch.jp/jp/Registration>)

同時開催：「Imaging Japan」「Smart Sensing」「JPCA Show」他 全12展示会

自動車・車載、光通信・データ伝送、製造・生産、AV・家電、ヘルスケア・医療分野など、幅広い分野の開発用途から産業用途まで、新たにデジタルトランスフォーメーション時代に対応する展示会として、最先端光技術を一堂に会します。

今回も電子機器トータルソリューション展と同時開催することにより、光技術と電子技術の連携を図るため、相互来往、企画連携などを実施します。

■ 展示会

最先端光技術の応用先は精密機器や半導体、通信、計測からバイオテクノロジーに至るまで多岐に渡るため、インターオプトに加えて、特に注目度の高いアプリケーションに特化した専門展示会として、撮影・撮像、画像処理、画像センシング、ディスプレイ・投影に関する技術と製品をテーマにした最先端イメージング技術の展示会である「Imaging Japan」と共に光技術の最新情報を発信し、新たなビジネスマッチングを実現します。

また、電子回路・実装技術の展示会である電子機器トータルソリューション展の中での開催としたことにより、光技術と電子技術をつなぐ先端デバイスの総合技術展示会としての見どころも充実させています。

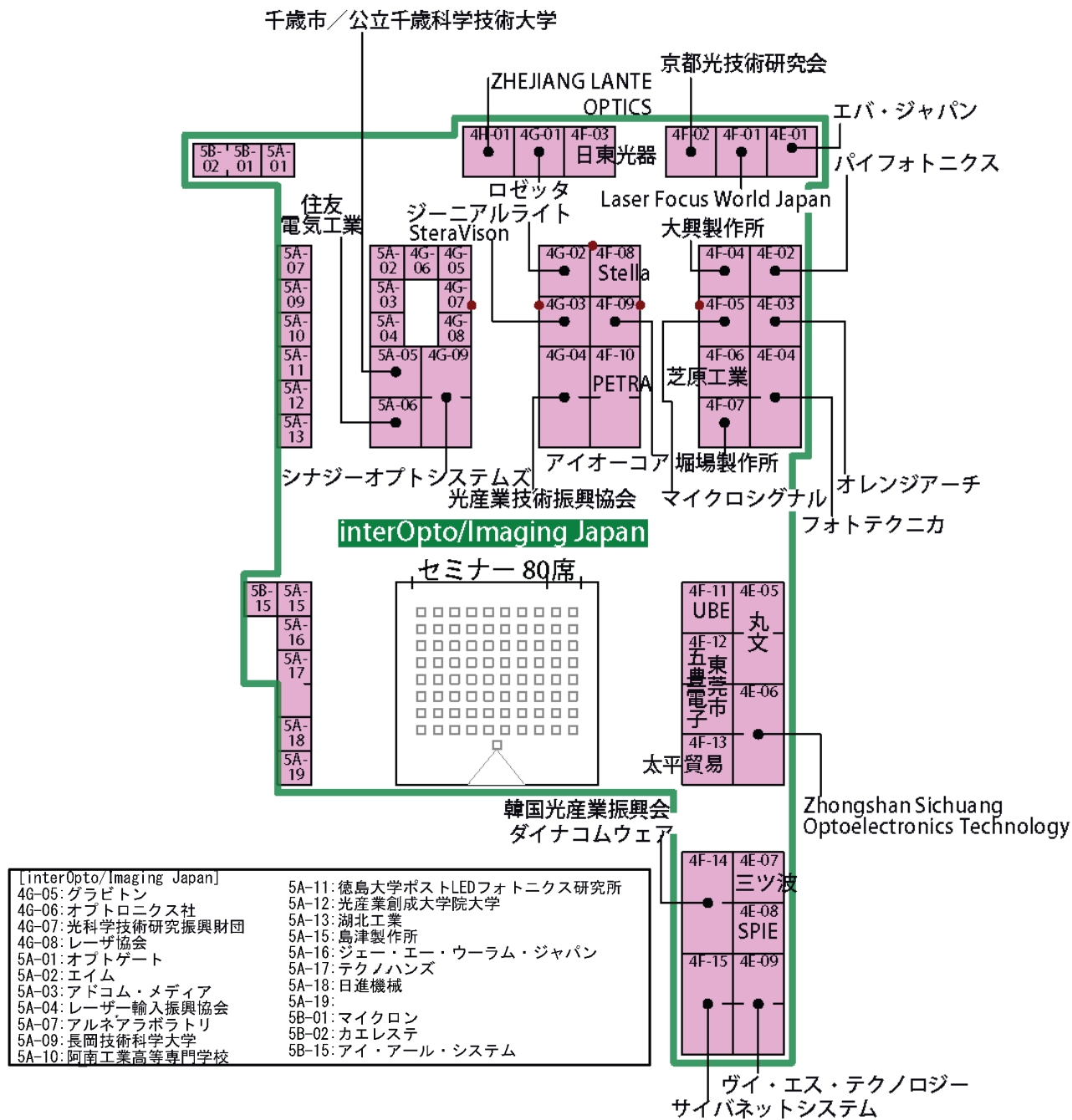
■ セミナー

展示会と並行して、当協会では最新の光技術トピックスをテーマとしたセミナーを5月31日（水）に開催します。今年のテーマは「産業の高度化・微細化に貢献する光・レーザ技術」です。

また、展示会場内オープンスペースのセミナー会場では、5月31日（水）～ 6月2日（金）の3日間に分けて、展示会の「注目される光技術ゾーン」への出展会社が自らの技術・展示品を紹介する「注目される光技術セミナー」を開催します。

セミナー名	開催日	会 場
OITDAセミナー 「産業の高度化・微細化に貢献する光・レーザ技術」	5月31日(水)	会議棟 102
注目される光技術セミナー	5月31日(水)～ 6月2日(金)	展示会場内セミナー会場

■ 展示ブース (東4ホール：インターオプト及びImaging Japanのみを掲載)



■ 注目される光技術展示・注目される光技術セミナー

光技術の最新情報が集まる当協会の強みを生かし、萌芽段階にある技術をいち早く発掘・紹介することを目的に、「注目される光技術展示」と「注目される光技術セミナー」を開催しています。これらは各分野で注目されている企業・研究機関を、当協会の光技術動向調査委員会からの推薦および中小・ベンチャーを対象とした出展支援事業の応募の中から選出し、新たな光産業を牽引することが期待される技術を展示とセミナーにより紹介するものです。

展示ブース、セミナーにお立ち寄りいただきますよう、お願いいたします。

注目される光技術展示 出展者および出展技術

ブース	出展者名	出展技術（出展名）
4E-03	株式会社オレンジアーチ	視線による非接触インターフェイス技術
4E-02	パイフォニクス株式会社	光パターン形成LED照明「ホロライト」
4F-08	株式会社 Stella	光計測による運動能力計測装置
4F-06	芝原工業株式会社	光学技術を用いたレーザー溶接用電子ゴーグルの開発
4F-09	アイオーコア株式会社	最先端シリコンフォトニクス技術を採用した超小型光モジュール
4F-05	マイクロシグナル株式会社	シールド内蔵低容量ドット受光 IC
4F-04	株式会社大興製作所	光学部品を用いた深紫外線 LED 照射モジュールの開発
4G-02	ジーニアルライト株式会社	非接触、小型、高精度な血液、液体、体液の光学センシング
4G-03	株式会社 SteraVision	これが本命の車載用 LiDAR だ！

注目される光技術セミナー

5/31(水)	出展者名	セミナータイトル	講師
10:35-10:55	株式会社 Stella	光計測による運動能力計測装置	株式会社 Stella 代表取締役 長谷川 正仁
10:55-11:15	株式会社大興製作所	深紫外線 LED に対する光学部品を用いた最適な光の照射とその応用(仮)	株式会社 大興製作所 デバイス&ユニット事業部長 三上 仁
16:10-16:30	株式会社オレンジアーチ	視線追跡システムを用いたストレスフリーなコミュニケーションの開発	株式会社オレンジアーチ 代表取締役 本山 功
6/1(木)	出展者名	セミナータイトル	講師
16:00-16:20	パイフォニクス株式会社	光パターン形成 LED 照明「ホロライト・シリーズ」 ～安心安全・面白い・新しい光の使い方～	パイフォニクス株式会社 代表取締役 池田 貴裕
16:20-16:40	マイクロシグナル株式会社	ドット受光 IC が実現する高速・高 S/N センシング	マイクロシグナル株式会社 開発 Div. 渡辺 嵩都
6/2(金)	出展者名	セミナータイトル	講師
14:50-15:10	株式会社 SteraVision	人の目のような視覚システムを実現する LiDAR	株式会社 SteraVision CEO 上塚 尚登
15:10-15:30	ジーニアルライト株式会社	小型、高精度な血液、液体、体液の光学センシング	ジーニアルライト株式会社 代表取締役社長 下北 良
15:30-15:50	芝原工業株式会社	安全性を確保し、教育ツールとしても使えるレーザー溶接用電子ゴーグルの開発について	芝原工業株式会社 代表取締役 芝原 利幸

■ OITDA セミナー

5月31日（水）に、OITDAセミナーを会議棟1階の102会議室にて開催します。

今年のテーマは「産業の高度化・微細化に貢献する光・レーザ技術」とし、ますます高度化・微細化の進む産業に欠かせない最新の光・レーザ技術に関する講演会を実施します。

我が国の今後のものづくりを支えるレーザ微細加工技術やスマートグラスに関する取り組みの紹介に加え、欧州および米国における光産業の動向と最新光技術に関する講演を予定しています。

一般財団法人光産業技術振興協会賛助会員、教育機関、公的機関、報道関係者は無料でご参加いただけます。また上記以外の一般の方につきましても、¥5,000（資料代・消費税を含む）にてご参加いただけますので、プログラムをご参照の上、是非ともご参加ください。

お申し込みは https://form.oitda.or.jp/no9_1 よりお願いいたします。

『産業の高度化・微細化に貢献する光・レーザ技術』プログラム（敬称略）

5月31日(水)		会場:東京ビッグサイト 会議棟 102 会議室
10:25~10:30	『主催者挨拶』	一般財団法人光産業技術振興協会 副理事長 兼 専務理事 小谷 泰久
10:30~11:10	『レーザー微細加工における TACMI コンソーシアムの取り組み』	 東京大学 物性研究所附属極限コヒーレント光科学研究センター教授 小林 洋平 近年レーザー加工の市場は 2 兆円規模となっている。これまでの機械加工からのレーザー加工への置き換えだけではなく、レーザーだからできる加工もある。例えば難加工性材料の CFRP や、脆性材料であるガラスなどが好例となっている。レーザー加工の中でも微細加工の伸びがおおきい。特に半導体後工程の基板穴あけなどはレーザー加工の独断場であり、今後も重要な技術となる。人口減少先進国である日本が取り組むべきスマートものづくりとレーザー加工との関係についても解説する。
11:10~11:50	『プリント基板 レーザ加工の現状と未来』	 三菱電機株式会社 産業メカトロニクス製作所 レーザ製造部 マイクロ加工機設計課 課長 金田 充弘 電子機器の小型化・高性能化・低消費電力化に伴い、マイクロ加工の需要は増加しており、高速に微細加工ができるレーザー加工装置へのニーズが高まっている。本発表では、当社レーザー加工装置での微細加工技術について紹介する。また、より微細加工可能な新たなレーザー加工装置の開発として、当社、大阪大学、スペクトロニクス社は NEDO 国プロ「高輝度・高効率次世代レーザー技術開発」に参画し、高出力深紫外ピコ秒レーザー加工システムを要素開発した。システムと加工事例について紹介する。
11:50~12:30	『スマートグラス開発の現状と今後の展開』	 セイコーエプソン株式会社 VSM プロジェクト シニアスタッフ 高木 将行 近年注目を集めるスマートグラスは、ハンズフリーで実視野に色々な情報を重ねて表示できることから、主に遠隔支援や作業支援などの産業分野での応用が広がつつある。一方で、期待されている Mixed Reality への応用や個人向けの利用などに向けては、ハードウェアとして解決しなければならない課題が残されている。本講演では、自社製品 MOVERIO の製品とそれを使った応用例を紹介するとともに、技術開発における課題と今後の展開について述べる。
14:00~14:40	『マイクロ・ナノフォトニクスの可能性を探る 欧州のエコシステム』（※同時通訳あり）	 EPIC Director General カルロス・リー ナノ・マイクロ光学は、ヨーロッパの産業界で急速に成長し、活気に満ちた分野です。この最先端技術は、医療用画像から通信ソリューションに至るまで、さまざまな応用の可能性を秘めている。本講演では、急速に進展するこの分野の市場、アプリケーション、機会に焦点を当て、ヨーロッパのマイクロ・ナノフォトニクスのエコシステムの可能性を探る。ヨーロッパのマイクロ・ナノフォトニクス産業の現状を検証し、この新しい産業がもたらす課題と機会についても解説する。
14:40~15:20	『AR/VR・自動車産業におけるイメージングとセンシングのトレンド』（※同時通訳あり）	 OPTICA CTO ホセ・ポソ グローバルなフォトニクス産業ネットワークの必要性に関して、3D イメージングとセンシング、統合フォトニクス、自動車、AR / VR において、現在のフォトニクストレンドの例とともに今後 10 年間で期待されるビジョンを解説する。

※都合により講師・プログラムの内容が変更になる場合があります。